

薬用植物園

—ある日、探偵事務所に通のメールが届き、探偵君は調査に出かけた。

探偵君（以下、探）：今回の依頼は「薬用植物園の中を調べて下さい」か……。おっ？ フェンスが張ってあるな。中に入れないぞ。……よし、こうなったらよじ登って強行突破だ！

園長（以下、園）：ちょっと、そこの君！ 何してるんや？

探：うわあっ！ すっ、すみません。ちょっと覗いてみたかったので……。関係者の方ですか？

園：せや！ 私が園長やで！

探：（おお、ちょうどよかった……）実はですね、この薬用植物園について調べてくれて依頼があったんですよ。

園：わかったー、ついてきー。

探：今、園長の研究室でアツイ植物は何ですか？

園：^{しんこう}沈香・^{しそ}紫蘇・^{けいひ}桂皮やね。育てて分類をしたり、成分を抽出したり、遺伝子の研究をしたり、植物を軸に色々な研究してるねん。

探：なるほど。



▲今、注目を集めているのはこの沈香の木。金のなる木、だとか。

薬用植物園は薬学部構内に併設されている。3つのゾーンがあり、その中に3000～4000種の植物が植えられている。普段は鍵がかかっており中へ入ることはできないが、講義や実習で入ることができる。

園：薬用植物学（全学共通科目）でも見学できるんやでー。

探：あ、その授業受けてましたよ！ 見学の時だけサボりましたけど……。

園：（笑）せや。この葉っぱ食べてみー。

探：ん？ 甘いんですね！

園：これはね、ステビアって言って甘味料に使われているんよ。

探：薬草って苦いイメージしかなかったな。甘いものも植えてあるんだ。

園：向こうにはハーブもあんねんでー。



▲小さな青い花を咲かせるルリマツリ。咲いてすぐに散ってはまた新しい花をつける。



▲温室の中を飛んでいたジャコウアゲハ。薬用植物園は虫たちの楽園でもある。

探：他に何か苦労していることはありますか？

園：1つ1つ管理のしかたが違う上にたくさんの種類があるから、知識が必要かな。水遣りとかも大変やねんけど、なかなか人に頼めないから休みがないねん。あと、全体的に施設が古くなってきてるねんけど、お金がなくてね……大変やわ。そうそう、ちょっと草むしり手伝ってくれへん？

探：えっ？ あっ、はい。

園：ほらほら、まずはこの花壇やって、次はあっちの方、それが終わったら……。

探：なんでこうなるんだー！

—今回も大活躍(?)の探偵君であった。
(えむいち)

※背景：シルクロードで採取され、薬用植物園で栽培されているカイソウ。